

はじめての短歌

1987年、俵万智（たわらまち）さんの著書『サラダ記念日』が発刊され、短歌が一大ブームとなりました。～「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日～は、現代的な短歌の先駆けになりました。また、昨年放送されたNHK朝の連続テレビ小説「舞いあがれ!」において、短歌がクローズアップされたのも記憶に新しいところです。

さて、岡山市は昨年10月31日付けで、ユネスコ創造都市ネットワークの文学分野に加盟が認められました。文学創造都市おかやまとして、今秋から来春にかけてさまざまな催事が計画されています。

高松公民館では、地元高松ご出身で京都にお住まいの歌人 大森静佳さんをお招きして「はじめての短歌」講座を以下のとおり開催いたします。実際に短歌をつくるワークショップも行います。皆様、どうぞふるってご参加ください。

2025年 1月12日(日)
10:00～12:00(受付9:40)

会場 岡山市立高松公民館
定員 25名(先着順)
対象 中学生以上の方で、以下の「事前準備」をしていただける方
持参物 筆記用具、「事前準備」したメモ
申込み 12月12日(木)から窓口またはお電話で。

事前準備について

以下3つのテーマから1つを選び、短歌にしたい場面やエピソードを200～300字程度のメモにまとめて持って来てください。①「わたしの好きな場所」②「わたしの好きな季節」③「よく思い出すひと」

大森静佳さんプロフィール

1989年岡山県生まれ、京都府在住。19歳まで備中高松で育つ。高校時代に短歌を作りはじめ、2010年に第56回角川短歌賞を受賞。歌集に『てのひらを燃やす』（角川書店）、『カミーユ』（書肆侃侃房）、『ヘクタール』（文藝春秋）がある。「京大短歌」を経て「塔」短歌会所属。Eテレ「NHK短歌」に選者として出演中。

岡山市立高松公民館 岡山市北区津寺104 ☎ (086)287-2057

開館時間：月～土曜日 9:30～21:00 日曜日 9:30～17:00 休館日：毎週水曜日・祝日